

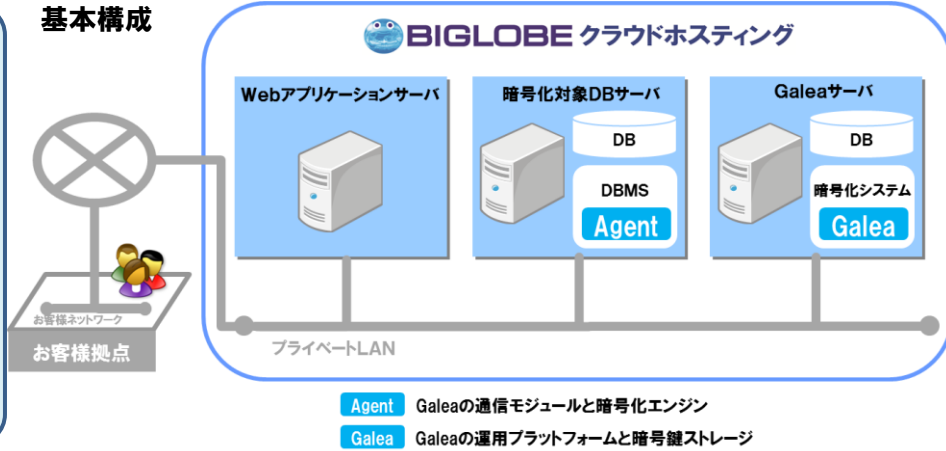
データベース暗号化ソリューション

カラム単位にセキュリティレベルを設定できるDB暗号化ソリューション

特徴① 導入が容易なDBプラグイン方式

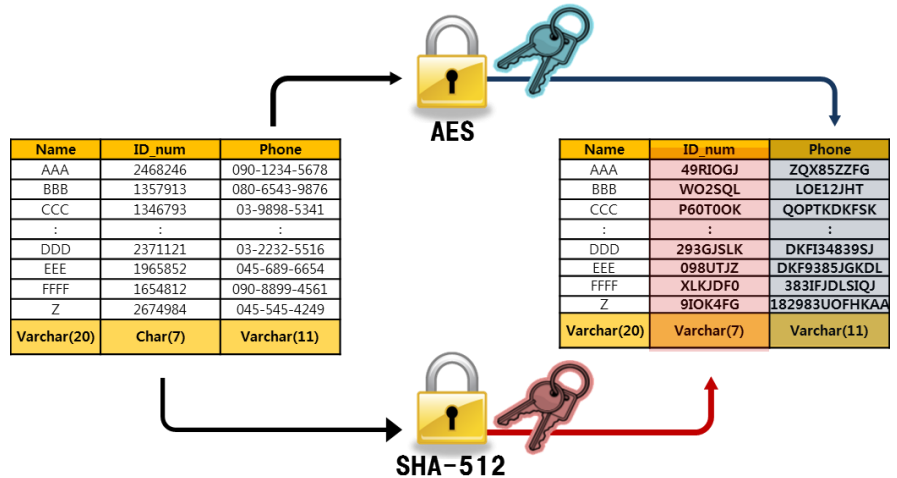
- 既存のアプリケーションを修正する必要がありません。
- 既存のDBサーバの設定を変更する必要がありません。

基本構成



特徴② カラム単位に暗号化できます

- 必要なカラムだけを暗号化（サーバ負荷を最小化します。）
- RSA、AES、3DES、SHA-2など、電子政府推奨暗号リストに掲載の国際標準アルゴリズムに対応



特徴③ カラム単位にユーザの参照権限を設定できます

- 検索結果をマスキングすることができます。
- IPアドレスでユーザを判別できます。

検索結果をマスキング



管理者(復号化)

Name	ID_num	Phone
AAA	2468246	090-1234-5678
BBB	1357913	080-6543-9876
CCC	1346793	03-9898-5341
:	:	:



一般ユーザ(マスキング)

Name	ID_num	Phone
AAA	*****	***-****-5678
BBB	*****	***-****-9876
CCC	*****	**-****-5341
:	:	:

IPアドレスでユーザ判別



端末A



端末B



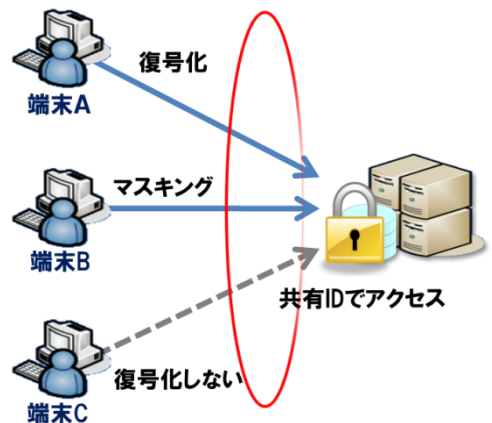
端末C

復号化

マスキング

復号化しない

共有IDでアクセス



主な機能

Galeaは、DBテーブル内の機密性の高いデータ項目(カラム)のみを指定して暗号化します。一般的なDBMSの暗号化機能はテーブル単位に暗号化するため、該当テーブルにアクセス可能なユーザは全データが参照可能であるのに対し、Galeaはカラム単位に機密性に応じてユーザ毎の参照権限を設定することができます。

基本構成と各コンポーネントの役割	Galeaサーバ	運用プラットフォーム (CMP) と暗号鍵ストレージ (KS) で構成されます。Galeaサーバは二重化構成とすることができます。	
		CMP	セキュリティポリシーの設定およびDBアクセスログの記録を行います。
		KS	暗号鍵を管理・保管します。
	Agent (暗号化対象DBサーバ)	暗号化対象DBサーバのリスナーにプラグインする通信モジュール (GDS) と暗号化エンジン (LE) で構成されます。	
	GDS	Galeaを構成するコンポーネント間の通信を制御します。	
	LE	セキュリティポリシーに従い暗号化／復号化を行います。	
既存システムの修正や変更が不要	GaleaはDBサーバ内で暗号化／復号化を実行するため、アプリケーションのプログラム内に暗号化情報を追加したりSQLを修正する必要がありません。GaleaはDBMSやDBサーバのOSと独立して動作するため、導入時にDBサーバの設定を変更する必要はなく、またOSのアップグレードにも影響を受けません。		
対応する暗号化アルゴリズム	公開鍵暗号	RSAES_PKCS1, RSAES_OAEP	
	共通鍵暗号	AES, 3DES, ARIA, SEED	
	ハッシュ関数	SHA-1, SHA-2, HAS-160	
参照権限の設定	ユーザの判別条件	DBユーザID, IPアドレス, 端末名, ユーザ名, アプリケーション名など	
	参照パターン	・参照可(復号化) ・部分的参照可(部分マスキング) ・参照不可(全マスキング, 非複合化) *業務時間外は参照不可にするなど、時間帯による制御も可能	

対応DBMSと動作環境

対応DBMS	Oracle 8i, 9i, 9iR2, 10g, 10gR2, 11g, 11gR2 MySQL (2013年8月リリース予定) MS SQL Server (2013年9月リリース予定)
暗号化対象DBサーバ	上記DBMSが稼働するWindows Server, Linux
Galeaサーバ	CPU : 2vCPU メモリ : 2GB ディスク : 100GB OS : Windows2000 / 2003 / 2008 Server / 2008 R2 : Red Hat Enterprise Linux 3 / 4 / 5 : CentOS 5 DBMS : MySQL

価格のご説明

- ・最小構成(Galeaサーバ:1台、暗号化対象DBサーバ:Linux1台)の場合の参考小売価格は150万円(税別)です。
- ・上記価格はGalea(パッケージソフトウェア)一式を一括で購入いただく価格です。(期間毎の利用料ではありません)
- ・年間保守費用、その他詳細は販売パートナーのお見積りによります。

お問い合わせ先

下記のURL(お問い合わせフォーム)からお問い合わせ下さい。

<http://www.warevalley.co.jp/>



日本ウェアバレー株式会社
〒100-0013
東京都千代田区霞が関3-3-2
新霞が関ビル18F

- ・記載された社名および製品名／サービス名は各社の商標または登録商標です。
- ・本カタログの内容は改良のため予告なしに仕様・デザインを変更することがありますのでご了承下さい。
- ・当製品は、ビッグロープ株式会社が提供する製品ではなく日本ウェアバレー株式会社が提供する製品です。ビッグロープ株式会社は本製品により契約者に生じる損害等につき何らの責任も負いません。

2013年5月現在